



# かがやけ！持松っ子

咲かそう！心に体に 自分の花を  
《やさしさの花 かしこさの花 たくましさの花》



## 何事もない日常の幸せ

校長 後藤 豊仁

明けましておめでとうございます。今年は年の始めから大規模な災害や事故が連続して起こりました。発生した時期を鑑みますと、青天の霹靂で、ありえないとさえ思います。

私の今年の大晦日は、妻、東京と福岡でそれぞれ働いている長男、長女、家族4人で、久しぶりに私の実家に帰省し、年明けを迎えました。

元旦の早朝、窓から外を眺めると、風もなく澄み渡った青空に、真冬を感じさせない穏やかな日差しが、私を外へと誘いました。心地よい空気を思い切り吸い込み、すばらしい年明けを満喫しました。

そういえば今年辰年（辰は、縁起のよい生き物という説があります）だったことを思い出し、「よい1年になりそうだ。」という気持ちになりました。

昼には妻の実家に行き、新年の挨拶を行ったのち、居間でテレビを見ていた午後4時過ぎ。通常の番組から突然映像が石川県の七尾港に切り替わるとともに、能登半島近辺で大きな地震が発生したことや、津波が来るので高い所に早急に逃げようという避難勧告が非常に緊迫した声で、伝えられました。

正月でゆっくりしている自分の現状と、あまりにも相反する出来事が映像の向こうで起きていることに、頭が全くついていきませんでした。

朝、私が「よい1年になりそうだ。」と感じたことと真逆の状況でした。

これが「地震」であり「津波」であり、自然災害の恐ろしさだということを感じた瞬間でした。

その翌日、空港での航空機接触の事故も起こりました。これだけの事故であるにも関わらず、旅客機に乗っていた方々に、死傷者はありません（14名は怪我をされたそうです）でしたが、地震の被災地に向かう予定の海上保安庁の5名が貴い命

を失いました。

これだけのことが、元旦からたった2日間起こったのです。これらの出来事から、子どもたちに伝えるべきことは何かを考えて、始業式を迎えました。以下はその内容です。

年が明けると、「明けましておめでとうございます。」と伝え合いますが、なぜ年が明けると「おめでとう」と喜び合うのか子どもたちに尋ねました。話をする前に調べたところ、そこには3つの解釈がありました。

- ①戦前、人の年齢は数え年が一般的で、産まれた日を1歳と数え、元旦で国民の全員が1つ年を取る。言わば元旦は国民全員の誕生日であったことから。
- ②新年を司る年神様が、各家々に降臨することから。（だからしめ縄や門松を作る。）
- ③災害、貧困、戦争、犯罪、疫病などがある中で、無事に新年を迎えられたことから。

5年生のある女の子が、「無事に新年を迎えられたから、喜び合うのだと思います。」と答えてくれました。その子どもが答えたのは、正に3つ目の解釈で、私が一番伝えたかったことでした。

私たちは、食べ、飲み、家を快適にして住んでいる。それは、実は当たり前のことではないのだということ。先の地震において自分の命が助かっても、家族を失われた方がいらっしゃる。私たちの住んでいるところよりも寒いところで、住む家がなく、食べ物や飲み物も十分でない方がいらっしゃる。それがわずか1日で起きていること。何事もない日常がどれだけ幸せであるかをしっかりと考えてほしいと思い、話しました。

と同時に、そのような方々に心から寄り添い、私たちにできることはないかを考えられる子どもであってほしいとも思います。

簡単ではないことは重々承知していますが、航空機接触事故も合わせまして、今回、被災された方々が、一日でも早く平和で何事もない日常を取り戻されることを願うばかりです。

## 校門周辺の整備が整いました！

昨年末の門松・しめ縄作り、花壇の整備（つつじ植え）等におきましては地域の方々や保護者の皆様の御協力をいただき誠にありがとうございました。おかげさまで校門周辺の整備が整いました。

また、来客用駐車場の柵も新調することができました。今後、皆様方に気持ちよく使用していただけるものと考えております。



## 2月の行事予定

- 1日（木）新一年生体験入学・入学説明会
- 6日（火）きずな・ふれあい集合学習  
牧園中入学説明会（午後）
- 9日（金）A E A
- 10日（土）土曜授業日・キャリア教育（ようこそ先輩）・家庭教育学級閉級式
- 11日（日）建国記念の日
- 12日（月）振替休日
- 14日（水）琴体験教室・ALT
- 15日（木）A E A
- 21日（水）移動図書
- 22日（木）A E A
- 23日（金）天皇誕生日
- 26日（月）芸術鑑賞（6年）AM
- 27日（火）A E A
- 29日（木）授業参観・PTA全体会  
学級PTA・SC